

## 白井市障害者計画等策定委員会平成26年度第4回会議 会議要録

1. **開催日時** 平成26年11月10日(月) 午後2時から4時40分まで
2. **開催場所** 保健福祉センター 2階 研修室
3. **出席者** 竹原委員、林委員、吉田委員、吉武委員、高柳委員、亀山委員、上野委員、黒澤委員、松本委員、鶴岡委員、福岡委員、中村委員、堀切委員、梨本委員、宮沢委員
4. **欠席者** 0名
5. **事務局** 小松課長、岡本副主幹
6. **傍聴者** 0名
7. **議 題**
  - ①第3回策定委員会 会議要録について (公開)
  - ②計画策定に向けたアンケート調査結果について (公開)
  - ③第4期障害福祉計画(素案)について (公開)
  - ④パブリック・コメントの実施について (公開)
  - ⑤その他

### 8. 議 事

#### ◇開 会 (事務局より)

#### ◇事務局からの報告事項

- ・配付資料の確認
- ・県計画策定に関する「フォーラム」について

#### ◇第4回白井市障害者計画等策定委員会

##### 1 委員長あいさつ

- ・竹原委員長からあいさつがあった。〔大要〕今年も早いものであと1か月ちょっと、これが今年最後の委員会です。障害福祉の場合、ご本人や家族は当然のこととして、「地域社会」が変わっていく、そういったことも大事なのではないかと思っています。今日はそのアンケート結果の報告と、素案と、そして最近流行りのパブリック・コメントについて。やはり市民の方々にご意見をいただく形、地域の方々にこの計画の策定とアンケートの結果についてきちんとお戻ししていく、そういったことが大事なのではないかと思っています。そしてあともう1点、そろそろ行政の方は予算の時期なのではないかと思っています。とすれば、この計画は来年度からということですので、できればこの計画が目指しているものにつきまして、できる限り予算の中へ具体的に反映させていただくように、取り組みを、行政の方をお願いしていきたいと思っています。以上簡単ですが、挨拶に代えさせていただきます。

## 2 議題

### (1) 第3回策定委員会 会議要録について

事務局 資料の発送が遅れたので、今回この場で資料をご覧いただき、その内容について気になった点等をご指摘いただき、内容についてご了承いただければ、この後情報公開の準備に入らせていただきます。

委員長 只今事務局の方から今回お送りするのが遅れたので、この場で皆さんからお気づきの点やご意見等があればいただきたいということですが、いかがでしょうか。

委員 この議事録は元々“抄録”ですから、発言の一言一句が正確に載っていないでも仕方がないとは思いますが、私は多分言ったつもりなのですが、この『白井市障害者計画』の中に“財源”の問題を入れてほしい、と。それで、『基本計画』とのリンクをどうするか、ということを質問したつもりなのですが、この5ページのところを見ると、『基本計画』とリンクしているというようなところは全然触れていなくて、同じ年度で同時に策定していく計画であるというとなかなか難しいのですが、その関係をきちんと位置づけておかないと、実現性はほとんど担保されないということが今までの経験からありますので、“財源”の問題をもう少しきちんとしてほしい、と思います。委員長の方で「予算化のために計画を作っているのだ」と言われましたが、それだけでは少し緩いので、もう少しそこをきっちり。私はそのために発言したつもりなのですが、そこがさらっと流されていて、不本意です。それは元のテープを聴いてみないとよく分からないのですが、議事要録に一語一語書くことはないのですが、ずいぶんと省略されて、この件については私の言いたかったことが脱けてしまっている部分があると思いますので、その辺はどうなっているのでしょうか。

事務局 すみません、やはり“要録”ということですので、どうしても“議事概要”という形での取りまとめになってしまっていて申し訳ございません。今、委員のご指摘にありました、“財源”と、あと『基本計画』とのリンクという部分についてなのですが、『基本計画』については企画政策の方と調整させてもらいまして、他の計画、それは『基本計画』だけではなく、例えば高齢者・介護保険の計画でありますとか、児童の計画、いろいろな計画と調和の取れた計画を作っていきたいと考えています。ただ、「財源の部分」ということでのご指摘なのですが、確かに重要なことだと思っはいますが、「障害福祉計画」の中いわゆる財源を載せるというのはなかなか難しいことだと思っています。ただ、それについては『基本計画』の中の「実施計画」の中で必ず、必要な部分については載せていくような形で整えていければ、と考えています。「実施計画」については当然5か年の財源に基づいた実施事業について載せていくわけですから、それに基づいて「障害計画」の事業も進めていきたいと思っています。その「実施計画」にどういったものを載せるのか、どういう部分のことをやっていくのかということについては、今年度と言うよりも来年作っていただく、いわゆる「障害者計画」の作業をやりながらその「実施計画」

と一緒に調整をさせて、計画策定を進めていければ、とは考えているのですが、そういった内容をこの要録に加えるような、直すような形で整えていくということでもよろしいでしょうか。

委員 “要録”というのは事務局がどう考えたか、というのではなくて意見をしっかりと議事録としてくれるわけでしょう。だから、そのところが少し違うのではない？、という気がしているのです。事務局にとっては「それはできない」という説明があったら、その説明を書きいただければいいので、だからと言って全文略してしまうことはないと思いますので。

事務局 おっしゃる通りだと思います。申し訳ございませんでした。では、そういったご指摘があったということで、要録の方に載せさせていただくような形でやらせていただきたいと思います。

委員長 委員からお話があったように、この場で財源の話をするということではなくて、発言の中身が要約の、ある程度やむを得ないとは思いますが、発言した委員の趣旨が反映されたものとなっていないということで、その点については、録音を含めて改めて確認していただければ、と思います。できれば委員ご自身宛てにこの内容について、その作業が終わり次第確認をしていただければと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 分かりました、そういった形で進めさせていただきたいと思います。

委員長 他の方、何かお気づきの点などご意見をいただければと思いますが…よろしいですか。今委員の方から1つご意見をいただきましたので、その点について修正をして、委員に確認の上、その内容でもって情報公開を進めるということでもよろしいでしょうか。よろしくお願い致します。

事務局 ありがとうございます。

委員長 では、「議題1」を終了させていただきます。続きまして、議題2ということで、「計画策定に向けたアンケート調査結果について」を話題とさせていただきます。事務局からご説明お願い致します。

## **(2) 計画策定に向けたアンケート調査結果について**

- ・事務局より、資料に基づき説明が行われた。市社会福祉課より、①資料のサイズについて（今回のように縮刷ではなく、A4の方が今後はいいかどうか）、②アンケート調査の発送・回収について（回収〆切り日、発送数、回収数、回収率、前回との比較）の報告が行われ、③アンケートの集計の結果、数値と説明については、調査実施、集計・分析支援作業を行ったコンサルタントから報告があった。

委員長 長い時間ありがとうございました。なかなか大変な分量であり、今ご説明いただいた内容については、今日は皆さんのご意見をこれからいただいて、おそらく冊子にまとめていかれるのですよね？まとめるために、できれば皆さんのお気づきの点や質問などを含めた形で今日お話をいただければと思いますが、そ

のような位置づけでよろしいですか。

事務局 はい。

委員長 お疲れのところ多々あろうかと思いますが。

委員 私からは、最初ですので、全体の印象と、これを見て市がどういったようにやるのかという点についてです。最初のアンケートの集計表を見て、今回「難病」が加わったと断られましたが、「一般」という部分も合わせ前回は無かったもので約400増えている。だが、それを差し引いたとしても、回収総数1,033で、前回の回収数より約170増えている、実数で。だから、おそらく3障害の該当者も多少増えているかと思うが、前回より、全体としては協力してもらっている。全体が7ポイント上がっているのだが、難病と一般の分を除いても回収率54.5%と前回よりやはり7ポイント上がっている、いや7ポイント以上上がっているだろうか。だから、今回は前回よりもよく回答してもらっている。少なくとも過半数の人が出してくれたということは非常に良かったと思います。

それで、このアンケートを送った相手の方ですね、それは一応各「手帳」があつてと、そういう前提でやっていらっしゃるのですが、「あれ、自分の所に送ってこないが…」ということで、「自主的に窓口で出したよ」、という人がおられたら手帳所持者でなくても是非ご回答いただきたいというお話をされていましたが、そういう当事者の方があつたかどうか、全くなかつたかということが気になります。全体の集計についてはそういうことで、評価してよろしいのではないかと。そこで内容なのですが、それぞれ専門と言うか各団体さんがいらっしゃって私より詳しいと思うのであまり立ち入りませんが、印象としては、各世帯のご本人さんがいらっしゃって、親御さん、介護者の方に大体見てもらっているのも、非常に上手く、“上手く”と言うと変なのだが、「困っている」というのはあまり見て取れないのは、私は「大変なのだが、ご家族の方が一生懸命やっていらっしゃる」というように読み取れる。私が注目したのは、それぞれのアンケートの最後、市に求める施策ですね。そこで、はっきり言えるのは、「情報提供」や「相談」に希望が非常にあるというのは共通していますね。それで、私は、これは市役所が最も身近にできることだと思うのです。逆に例えば「職場の改善をしてほしい」や「交通、道路」というのは市役所の、障害福祉課さんではなかなかできないことであるが、「相談はどうするか」、また「情報提供というのが非常に大事」という回答からそれぞれが求められていることは、これは市役所が真っ先にやって、それほど大変なことではない。物をつくるとかではないので。そのシステムをどうするかというのが分からないのだ、といったことをおそらく言っているであろうことが多いですから、それは今回の計画でもう少し前回以上に力を入れて行う方がいいのではないかと。お金はかからないので、変な言い方で悪いが。そのような相談や情報提供等のニーズをうまく調整・コーディネートする機能など、そういうことがもっと上手くできるのではないかと、それが求められているのではないかと思いますね。それと、“一般”の方の結果を見て驚いたの

は、説明もありましたが、非常に関心がないという失礼だが「よく分からない」、「知らない」というのがおそらく半分だと思っていいと思うのですよ、数字的に。そこで、これについても、市役所がやはり、福祉課さんだけでなく市役所全体で、市民にあらゆる機会を通じて、お知らせなりそういう現状など、そういうことを報せていくことが必要だと思います。例えば、「障害者手帳をもらっている方がどのくらい」ではなくて「どういう障害の内容の方が多いのです」と、少なくとも1回くらいそういうことを、何か数字等を新しく作った時にお知らせするなど、そういうことでやはりやるべきではないかと思いますが、これも、それほど大したことではないですね。何か物をつくるという以前の問題で、やはり一般の市民の方が、新聞を読んだり、テレビの報道に接したりし、それはそれとして、では自分の住んでいる市の市役所でどのように伝えてくれるか、というのが必要だと思うのです。それで、私は本当に意外だと言うか、「一般」の最後の、障害に関連するいろいろな事を知っているかというのは結果、概して約半分以下ですね。やはりその辺をよく理解してもらおうということが、障害のある方も非常に心強くなると思うのです。その辺について、一般的なそういうものは今回の「障害福祉計画」の中には入らないのかどうか分かりませんが、もし入らないとしても次の「障害者計画」には、そういうことが必要なのではないかと思います。

それと、説明の中で「いわゆる『自由記入式』設問のまとめ、回答者各々の意見が書いてあるものの資料は今回は無いが、書き込み自体は結構あった」ということがありましたが、私もとても注目しているところでして、そのそれぞれの最後の施策が対象者ごとの施策でどのような違いがあるのかなど、私は「自由意見」の所を書いてあるのが大事だと思います。だから、それはできる限り公表してもらって、非常にいい意見があると思います。統計的に集計する十ぐらいの項目では、実は実態はあまり十分には分からないのです、予め決められたテーマに対し回答するわけだから。だが、「自由回答」の所には自分の市ではこういうことをしてほしいとか、おそらく全部ではないと思うが書いてあるわけだと思います。それを見せただけならば参考になりますね、公表できる内容のものについては、それが大事なのではないかと考えます。この全体のアンケートは非常にいいのだが、市役所でできる以外のことの方がむしろ多かっただけではないですか。だから、それはそれでいいのだが、市の計画に入れるには少なくとも市ができることでないといけないわけですね。だから、そういう細かいことは「自由意見」におそらく書かれているだろうから、是非、報告書として全部印刷するかどうかはともかくとして、どのようなことがあったのか、非常に関心がありますので、策定委員には見せてほしい、と。以上です。議事録では端折って、簡単にまとめてくれていいですよ。

事務局 まず、アンケートの名簿発送者以外で、ご協力していただけた方がいらっしゃるかどうかということなのですが、一応ホームページの方でご紹介はさせていただいたのですが、残念ながらお一人もそういう方はいらっしゃらなかったという状況でござ

います。あと、今回の、いわゆる“数字”ではない自由な、フリーの意見については、今後「アンケート報告書」の一部としてまとめさせていただく予定です。なるべく次回の委員会には、そういった報告書に近い形で詳しい解説なり、自由意見をまとめた内容のものを資料として委員の皆さんに提供できるような形で準備を進めていきたいと考えています。以上です。

委員 1つだけよろしいかしら。先程申し上げた中で、全体の印象として非常に「情報提供」や「相談」などに関する施策・政策要望が当事者から多く挙げられていましたね、最後の設問で。だから、それは是非今回の計画に、今までの計画にも既にあったとしたら、そういうことはもう少し上手く何か心得てやってほしいなという希望がありますから。是非、よろしくお願ひしたいです。

事務局 おっしゃる通りだと思います。今以上の情報公開であるとか、そういった相談というのは、すぐにでも十分に対応していける部分だと思います。どういった対応ができるか、というのはまた別の場になろうかとは思いますが、そういった内容を組み込んで計画なりに反映させていただくような形でやっていきたいと思ひますので、よろしくご協力お願ひします。

委員 委員長におうかがいしたいのですが、このアンケート解説の結果を、今日中に何か、出したいのかと。おそらく4時ぐらいには終わりますよね。そこであと時間見たらそれほど無いし、これ1つ1つに感想なんて述べていたらとてもではないが時間が足りないと思ひますので、これについては今日是非、というものがあればまず指摘して、あとはそれぞれ持ち帰って少し自分達で集約してまとめた上で出した方が能率的ではないでしょうか。

委員長 ありがとうございます。確かに時間もだいぶかかっていますので、今説明を受けた内容につきまして各委員の方々でご意見や、これについての問い合わせなどといった内容を事務局の方にお出しいただくということで、ある程度時間制約が、次の「計画」のところもありますから、今の委員からのご意見の通りそういう形で取り扱ひさせていただくということは、事務局の方はいかがですか。

事務局 はい、一応ですね、文書等で、ファックスでも手書きでも何でもいいのですが、紙で書いていただいたものでもうちの方で活字化します。ただ、「いつまで」という部分もあるのですが、一応次回の委員会時にとりあえず報告書に近い形の、アンケート結果を取りまとめた文書を資料として提供したいと思ひのですが、今月（11月）中ぐらいまでに事務局に文書でいただいたものについて、できる・できないも含め、どうやってまとめていくかということは、コンサルタントとも下相談させてもらいながら、また委員さんに直接フィードバックしていくものと、次回会議の時にこういった内容についてはこの部分に反映させているなど、どういう形のご報告になるのかも含めまして少し確認しながらやらせていただきます。とりあえずご意見については、今月中にいただくような形でお願ひできればと思ひます。

委員 そのご意見も、例えば「こう思ひた」という感想と、それからこれをもう一回集

計し直してとか、障害者調査で、知的や身体などを1つの欄でやってどういう特徴があるのか、というまとめ方もあると思うので、それはそれぞれの委員さんのやり方かと思いますが、一つ一つを取り上げて「この場合はこうだね」などということをやっていたら、それは施策の中に入ってしまう部分も出てくるでしょう？例えば、知的だったら何が必要だ、というような“各論”に入ってしまうから、それ以外でもっと大まかにまとめてしまった方がいいのか、それともほぼバラバラの意見でもいいのか…どうですかね。

委員長 おそらく集計についてのご意見ということになるのかなと思います。結果については、これは客観的事実ですから当然それをどう評価するのか、どう市民にフィードバックしていくのか、事業計画に反映させていくのか、というのは、これからの話ですよ。ですから、集計について例えば「こういうクロス集計をやってくれ」などと言うようなことだと思えるのですよね。おそらく、障害によって結果も全然違っているでしょう。それはこの今回のご意見というようには考えてはいないのですが、集計にあたってのご意見やご要望等があれば、今月中にお寄せいただきたい、ということです。

コンサルタント そうですね。今、先生からお話いただいたように、一応このアンケートの結果自体は数理的な客観的な事実でございまして、その範囲のもので報告書については書くということです。そしてまた、調査の数が非常に多いので、ものすごく細かなデータまで載せていくと電話帳みたいになってしまったりするので、“報告書”としては100ページ前後ぐらいのものということになりますが、ただですね、それとは別に少し細かなことをご存知の方であれば、“クロス集計”というような集計がございまして、「この問いとこの問いとのクロス集計が見たい」などというのがありましたら、報告書に載る、載らないとは別の問題として、この委員会に資料、統計資料としてご提供させていただきます。これについては変な話、次年度になってから思いつかれてもそれはおっしゃっていただければ、その時点で対応させていただきますし大丈夫です。報告書自体は基本的には簡潔に3障害の結果をまとめたくんだり、難病の方は「自分は障害者ではない」という認識の方が多いでしょうから難病で1章を設けるなど工夫して、後は障害の無い市民の章としてまとめます。そういう3つの章から成るなどのものと、後皆さんに団体のヒアリングを実施させていただきましたのでその「団体ヒアリング」の結果のまとめも合わせて、本年度の「基礎調査報告書」というような形で出させていただくということになるかと思えますので。それ自体はそのような流れになるかと思えますので、先生からご説明いただいた通りですね。それ以外の部分については、「特に何も無いよ」という委員さんもいらっしゃる、クロスのこれとこれが見たい」というようなお詳しい方もいらっしゃる、いろいろでしょうから、また随時おっしゃっていただければと思います。特に報告書にある程度考慮してほしいというような内容についてはまずは今月中におっしゃっていただければと。後、先ほど少し出ました「自由記入」

ですね、中村委員さんからお話いただきました。それは具体的なフルの文章というよりは、「こういうのが多かったよ」といったような取りまとめの形で必ず載せていくことになろうかと思しますので、併せてご報告しておきます。よろしく願い致します。

委員 委員長、一つ発言があるのですが、そもそもこの計画は来年の3月までに作るものなのでしょうか？そして、実施は次の年度、27年度から、ですよ。そうすると今もう11月で、次委員会が12月…なのかどうか分かりませんが、私はこの集計のこの数字そのものはこれで決まりなわけだから、これを見て例えばこういう知的の方、身体の方には、希望などを取って、市の現在のことも考えて、「こういうことが不足しているのではないかと」とそういう意見を早速出してもらわないと間に合わないのではないかとと思うのですが違いますか？集計そのものはこの数字で確定であるわけだから、これを読み取って、「精神の方はこれが不足している」というように読み取るべきではないですか。今の制度がこうなっているからこれが足りない、というのが分かるとしたら、そういうものも早速出してもらわないと間に合わないのでは。

事務局 今年度末の3月に策定する計画というのは、“第4期”の「障害福祉計画」という計画で、これは今あるサービス、即ち指定障害福祉サービスや、市の方でやっている地域生活支援事業などのサービスの量の推計をさせていただくという形の計画で、これを今年度中の策定を予定しているものです。今委員さんがおっしゃった、どういったサービスの希望が多いなどといった部分については、来年度策定予定の「障害者計画」、これは主に文章で、こういった状況なのでこういった部分が薄いからここに力を入れる、こういった方法でこういった支援を目指していくなどといった計画ですが、今回行わせていただいたアンケートについては、その策定のための基礎調査でもあります。ですから、まだ「障害者計画」の方については、また1年以上と少しお時間をかけて、委員の皆さんのご協力をいただきながら作っていきたいと考えているところでございます。

委員 そんなゆっくりでいいのだろうかと思っただけです。

委員長 お話のように、今年度中にこの「障害福祉計画」というのは策定を行うというのがこの委員会の目的と思いますが、次回以降のお話がありましたようにこのアンケート結果を踏まえた形でのある程度サービス量の推計等については、この「障害福祉計画」の中に当然含まれるものというように思っております。この結果で、「ここが足りない」といったようなことがある程度、次の「障害者計画」の方で中心的にはやるとは言いながらも、この「障害福祉計画」の中にも一定程度反映をする。ただ、その実際の作業は、次回の委員会等の中で「アンケートの結果にもあったように、～」というような形で、やる中身が示されるのではないかと思います。それと、委員の方から先程ご指摘がありましたが、「制度が分からない」や「将来不安がある」といったことにつきましては、できればこの計画の中に1つ具体的な項目を

落としていただくとよいかなと思います。そしてその前提というのは、やはりこのアンケート結果が示しているから、と。そういったことを検討していくために、今おそらく皆さん不完全燃焼かと思っているのですが、できれば、次回の委員会時には具体的にお示しをいただければ。その辺をどう計画の中に落とし込むか、というようなことについては次回の委員会以降、ということによろしいですかね。

事務局 次回の中ではとりあえず計画の素案を扱おう、と。この後で説明しますが、パブリック・コメントなどについてはほぼほぼ計画に近いものをお示ししてコメント募集をやっていくような形になりますので、次回の時にはある程度そういったものを織り込ませていただいて、“計画素案”という部分のご説明をさせていただければ、という風に考えています。以上です。

委員長 進行にやや不手際があり大変申し訳ないですが、もしよろしければ次の議題の方に移ってまいりたいと思います。おそらく今の内容とも関連してきますので、次の議題「(3)」ということで、「第4期障害福祉計画」(素案)というものを、事務局の方からご説明をお願いしたいと思います。

### **(3) 第4期障害福祉計画(素案)について**

・事務局より「第4期障害福祉計画」(素案)について、資料に基づき説明が行われた(こちらの資料も縮刷版だったが、次回以降はA4にすることになった)。

委員長 只今、事務局の方から「第4期障害福祉計画」のアウトラインと言うのですか、説明を受けましたが、具体的には次回、サービス量等については次回以降この委員会の中でご意見をいただきます。当然先ほどお話がありましたように、今回のアンケート結果も考慮した形で、この続きの資料は次回示されるということで…。今回は、計画の法的な位置づけや目的、現状についてのくぐりまで紹介されました。この「現状」というのも、資料があるのは24年度と、25年度までですので、おそらく26年度がどれぐらいになって、いわゆる27年度以降という部分について実際にご意見をいただくのは次回、ということですかね。

事務局 はい、そういう形で考えています。

委員 すみません。計画時というか、今度次に出されるのだから余計なことかも知れないですが、例えばその“達成率”が低かったら「そのサービス等は要らないのではないか」等となるのが怖いのです。前回作った時に、見込みサービス提供量を掲げている訳ですが、もともと事業所が無ければ“達成率”など上がるわけがないではないですか。それで、事業所をつくる努力についてはここでやるわけではないでしょう? 「障害者計画」の方でしょうか? そちらをしっかりとっておかないで、「達成できていないからこれは要らないですね」といった調子で切った、というようなことはしないでください。例えば、先ほど委員さんが言われた「相談事業」などは達成率は低いですが大変重要です。だから、このところの達成率が低いのは、必要が無いから、ではなくて、何かが少ないからそうなっているというような深く掘り下

げた分析をしっかりと算出していただきたくお願いします。

事務局 はい、重々今の内容を考慮させていただきまして、推計の方、実際どのような形というのはまた別なのですが、その辺りは織り込んでやらせていただきたいと思います。

委員長 そうですね。「達成率の中身」というのですか、「利用したくても事業所が無い」などの事情への配慮が大切、ということですね。もともと計画が違っていただけではないか、などというような、単に計画に対する達成率だけを評価していくという風なことではなく、その原因というのとは、いろいろな面を織り込んでいただいた上で次の計画を作っていくということになるのではないかと思います。折角ですから、これについて何かご意見、他にありましたら。

委員 すみません。今後の策定スケジュールですが、次の委員会はおそらく年明けからかと思うのですが、そこにはもう、文章的なものは粗っぽくても「計画素案」とかそういうものが出てくると考えていいわけですか？今回のような本の一部の、部分的なものではなくて、その何倍もの物が出てくる、と。

事務局 はい。ほぼほぼ計画書に近いものをお示しできれば、と考えています。

委員長 その時点では素案に近いものなのですよ？ですから、各委員のご意見は次回、ということで、計画的にはその次の案に反映されていくのでしょうか。

事務局 素案をまとめてもらって、パブ・コメにかけて、「案」にして、パブ・コメの後の修正などという部分を3月ぐらいの委員会でご承認いただいて、計画確定、という形にさせていただくというスケジュールで、今のところは考えています。

委員長 何かご意見いかがですか。私から1つ、これは要望なのですが、最後のページの「障害のある人等の状況」の中で、できれば年齢構造、年齢のことと言うのは、おそらく手帳のデータから取っているわけですから、高齢化の状況がどうなっているのか、知的障害がある方は増えているのかというようなことをもう少しデータを出していただくのと、県や国の動きと関連していわゆる「内部障害」が高齢化の進行によって増えているといったことがよく言われますが、比較するところで県全体や国がどうなのか、年齢がどうなのか、というようなことをもし可能であれば、この中に含めていただければ、というように思います。先ほど調査の時、集計はあくまでも調査への回答をした人の年齢や障害の程度といったことですので、実際の手帳を持っている方全員のデータはここに反映してあげた方が調査結果との差を理解することでも必要なのではないかと…済みません、私が喋ってしまって。

事務局 可能な限りその辺りの資料を提供させていただくような形でやらせていただきたく思います。

委員 済みません、実績値を出されますよね、前年度までの計画に対して実績値を出すというように。そこにはできることなら障害別の実績値を出してもらおうと、どこが欠けているかというのが非常に分かりやすいのですが、おそらくそれは膨大な事務量になるので難しいのではないかとと思うのですが、それを出してもらおうと

読みやすくなると思います。

事務局 例えば、居宅介護の実績「247」だったら、そのうち身体は幾ら、知的、精神はそれぞれ幾ら、というような形でしょうか。

委員 そうです、例えばで言うと。

事務局 どういった資料がうちの方であるのか少し確認をさせていただいて、計画書にそういうように載せるのか、あるいは委員さん方に資料としてお示しするという形になるのか。そこの辺りはまたご相談させてもらいなごらだと思ひます。

委員 それを見ると、要するに達成できている、いや、「達成」というか、どういふ障害の場合が利用しやすいか、またどういふ障害にはほぼ事業所が無いか、というようによく分かってくるので…。ここ（この計画）自体よりは次の計画、「障害者計画」の方に反映しやすくなってくるように思ひます。

事務局 はい。なるべくそういった部分でお示しできるような形でやらせていただくように頑張ります。

委員長 他に何かご意見等は。

また私からで恐縮なのですが、いろいろ法律が変わっているというようなお話をいただいておりますが、特にこれからは「手帳」がどうのこうのというよりも、一元化していくのですかね、いわゆる知的障害、発達障害も難病の方も含めて、地域で全体として支えていく、というようない動きなので。そういう面では、「障害支援区分」というような形が、所謂“新しい障害”も含めた形での大きな流れになっていくのではないだろうかというように思ひます。その中ではおそらく、なかなか難しい部分はあるでしょうが“障害総合支援区分”というようない大きな考え方の仕組みができて、そういう中で「身体障害」があつて、「知的障害」があつて、「精神障害」があつて、「発達障害」や「難病」というものも全体に示されるのではないだろうか、と…済みません、私が勝手に話してしまつて。というようにも少しご参考に。そういうことで済みません、残り、私はもう喋りませんので、何かご意見をお願いします。もしも無いようでしたら、今日はあくまでも計画のアウトラインということで、「議題3」の方は以上で終わらせていただひて。次、続きまして、議題の「パブリック・コメント」の所でよろしいですか？

事務局 はい。「4」になりますね、「議題4」です。

委員長 そうですね、「素案」が3だった、失礼致しました。

#### **（4）パブリック・コメントの実施について**

・事務局より、「パブリック・コメントの実施」（資料・議題4）について説明が行われた。

委員長 今、事務局の方から今回の計画の策定にあたって、本当に市民の多くの方の意見をできる限り反映していきたいということで、次回の委員会が1月16日ですのでそれ以降、素案をある程度固めた上で、幅広く市民の意見を求めていきたいとい

うような、「パブリック・コメント」の説明がありましたが、この件につきましてご意見等いただければと思います。このパブリック・コメントについてはおそらく次回の委員会でもまだ間に合いますかね？

事務局 大丈夫です。

委員長 実施方法、告知方法は…市の広報誌などですか？

事務局 「パブリック・コメントをやります」というお報せを市の広報、例えば1月1日か1月15日号なのかに載せないと1月後半からのパブリック・コメントというのに間に合わないのですが、その1月の広報の、済みません、これは事務の手續上の問題なのですが広報の締め切りが今月中になります。1月の広報の締め切りが11月中なので、「アウトラインとしてはこういった形で、あと細かい日にちが例えば1月の31日からの2週間なのか、1月の25日からの2週間なのか、そういった形で実施させていただきます」、というご報告はおそらく次回になるのですが、その段階でどこをどう直す、というような細かい文言的なものであれば全然問題無いと思うのですが、基本的な日数が、といったようなことになる対応はし切れないかも知れないですが。

委員長 はい。では、市の広報誌の方に「パブリック・コメントをする」ということは当然載せなくてはいけないわけですから、その点についてはよろしいですね。また、細かい実施規定、今事務局が日数だとかの話をしていましたけれども、それ以上に、できれば民生委員さんなどいろいろな団体の方に、具体的にコメントお願いの働きかけの取り組みをされない、なかなか集まらないことがあるような気がします。いずれにせよ、次の委員会の機会にまた、併せてご説明や皆さんのご意見をいただければ、と思います。「パブリック・コメント」についてはよろしいですかね。では、続きまして、事務局の方から何か“その他”としては？

事務局 「(5)その他」としまして、最後にA4・1枚で入れさせていただきました、「障害者関係団体の懇話会」なのですが、こちらの詳しい内容についてはもう少しお時間をいただきまして、次回の時に素案と併せて、「こういったお話をいただいた」という説明をさせていただきたいと思いますが、今回一応、“開催させていただいた”という形でのご報告になります。10月の6日から11月の5日まで6回にかけてなのですが、それぞれの団体にお話をいろいろとうかがうことができました。委員の皆さんにはご協力をいただきまして、どうもありがとうございます、この場を借りてお礼を申し上げます。「懇話会」の方については以上でございます。あと、次回なのですが、一応先ほどちらっとお話をしましたが、次回は年明け1月の16日の予定でございます。新年になりますのご協力の方、よろしくお願ひしたいと思います。「その他」については以上でございます。

それと、委員長、済みません。あと、今日当日配付をさせていただきました「千葉県障害者計画に関連するフォーラム」を、県の方も第五次の「障害者計画」を今作っている最中で、千葉県の計画はこういうものだよ、という形で、表紙の裏面に

なりますかね、11月7日から12月の23日までなのですが、「7日」はもう過ぎてしまったのですが、11月の14日、今週は船橋の方で紹介する、と。県の計画はこういった状況、またこういった案です、というフォーラムがあります。事務局の方は11月25日の「東葛飾地区」のフォーラムに参加する予定でございます。ご希望があれば委員の皆様もこういったフォーラムに参加していただければ、県の方はこういったもので、というのが分かるのではないかと思います。この今回のフォーラムでいただいた資料、こういった資料なのか分からないのですが、適宜次回の資料にも付け加えさせていただくような形を考えます。委員の皆さんもご興味があれば、こういったフォーラムにご出席をいただければ、と思います。ただ、その場合は直接県の方にファックスであるとかメールでお申し込みをいただいて、になります。済みません、予算も無いので交通費といったものは出ないのですが、ご興味のある委員さんについてはこういったものもご紹介させていただきたいと思っています。以上でございます。

委員長 今、いくつか「その他」ということで事務局から報告がありましたが、その関連することや、それ以外に来年は1月16日が次回会議ということですから、「年内これだけは。」というようなことがありましたらいただければと思いますが。もし無いようでしたら、一応事務局の方にお返しをしたいと思います。今日少し時間の配分や議題の、何のためにこういったご意見をいただくのか、というところで私も不手際がありまして、大分時間がかかったことと、皆さん少し不完全燃焼だったのではないかとということ、深くお詫び申し上げます。では、事務局の方に帰りの進行へ、お返しさせていただきます。

・次回の日程

1月16（金）保健福祉センター・2階研修室

◇ 閉 会

・事務局より閉会が宣言された。

・使用した資料

- ① 第3回策定委員会 会議要録（議題1）
- ② 次期障害者計画・第4期障害福祉計画策定に向けたアンケート調査結果（回収状況）（議題2）〈身体、知的、精神、難病、一般〉
- ③ 第4期障害福祉計画（素案）（議題3）
- ④ 第4期障害福祉計画策定に関するパブリック・コメントの実施（議題4）
- ⑤ 障害者計画・第4期障害福祉計画策定に向けた障害者関係団体懇話会の実施（その他）
- ⑥ （参考）第五次千葉県障害者計画に関連するフォーラムの開催について

以上